

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらい			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数)	28人
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターや相談支援事業所が同じ建物にあることで、相談体制や連携体制が整っている。	関係機関と連絡を取り合うことで、利用開始前の段階から利用児の情報共有に努めている。また、相談支援事業所があることで、定期的なモニタリングを受けることができている。	児童発達支援センターと協力をしながら、地域にある放課後等デイサービス事業所を巻き込んだ研修会の企画等を積極的に行っていく。
2	活動や自由時間等に合わせた活動場所での過ごし方を提供できている。	児童発達支援センターの多目的室や園庭等を使うことで、集団を分けて活動を行ったり、身体を動かして過ごしたりすることができている。また、必要に応じて集団から離れる場所を確保することでクールダウンの時間にも繋がられている。	今後は、利用児からの聞き取りを参考にした活動計画等を検討していく。慣れ親しんだ活動や、やってみたい内容等、幅広く意見を聞くことで、利用児の意思決定支援に繋げていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の子どもたちや兄弟児向け、保護者参加型の活動や行事が少ない。	行事の企画では、保護者の方を自由参加とした行事をいくつか検討し実施したが、参加の呼びかけが上手くできておらず、参加に繋がれていなかった。また、地域の子どもたちの参加が可能なイベントを企画したが、広報した範囲が限定的であったため、広く知らせていなかった。	年間行事の内容を充実させていく。そのために、年間行事計画の立案の段階から、様々な企画を盛り込んだものにしていく。また、周知の手段や周知の範囲については、活動内容に合わせて臨機応変に対応していく。
2	事業所の各種マニュアル、プログラムについて周知が行き届いていない。	年度初めの事業説明会や懇談会等を通じて説明を行っていたが、「どちらともいえない」「わからない」の回答が一定数あったため、事業所の運営について浸透していない部分が多いと感じている。	ホームページの更新やおたよりを使った周知に加え、保護者の方の来所回数を増やす努力を行い、事業所に関心を持ってもらえるように働きかけていき、活動写真や各種マニュアル等の掲示物に触れてもらえる機会を設けていく。
3			